



イヌを活用した獣害対策のために

追い払い犬 飼育管理マニュアル

Version 1.1.2 (2008-6-10)

兵庫県 森林動物研究センター



目次

1	イヌを飼う	3
1.1	餌	3
1.2	手作りの餌を与える時に気をつけること	3
1.3	餌と水の与え方	4
1.4	散歩	4
2	イヌの健康管理	4
2.1	予防接種（ワクチネーション）	4
2.2	寄生虫予防	5
3	イヌとのつきあい方	6

はじめに

このマニュアルでは、一般的なイヌの飼い方について説明します。イヌを使って効果的に農場を守るためには、イヌを健康な状態で飼うことが必要です。イヌを飼う場所、必要な道具、健康なイヌを保つコツ、病気の予防法、定期検診の必要性などについてふれます。



1 イヌを飼う

イヌを飼ったことのある多くの方が「イヌを飼うのは簡単だ」と思っているかもしれませんが、しかしながら、イヌと人が良い関係を保ち、イヌを健康な状態で長生きさせるにはいくつかのコツがあります。イヌを飼うことに自信を持っている方も、もう一度イヌの飼い方について考えてみて下さい。

1.1 餌

餌は市販のドッグフードを与えるのが簡単で安全です。ドッグフードを購入する場合には、「総合栄養食¹⁾」と表記された物を選ぶのが良いでしょう。

1.2 手作りの餌を与える時に気をつけること

人の食事の残りなどに手を加えてイヌに与える場合には、いくつか気をつけなければならないことがあります。

塩分の与えすぎに注意 イヌは人よりも少ない塩分で生きることができます²⁾。逆に言うと、人と同じ食べ物を与えると、塩分が多すぎて体を壊す原因になることがあります。塩味の濃い食べ物、例えば干物の粗^{あら}などを与える場合には、湯通しや軽く煮て塩分を抜くと良いでしょう。鳥の骨は煮るか砕く 鳥の骨は、噛み割った時に先端^{とが}が尖ることがあり、イヌの内臓を痛める危険があります。鳥の骨を与える場合は、よく煮て柔らかくするか、細かく砕いて与えます。フライドチキンの食べ残しなどを、ついイヌに与えてしまいがちですが、よく注意して下さい。**タマネギ（ネギ類）** ネギ類（タマネギ、長ネギ、ニンニク、ニラなど）に含まれている成分がイヌの血液成分を壊してしまい、急激な貧血を起こします³⁾。ネギ入りのみそ汁や、すき焼き

1) 日本ペットフード工業会 (<http://www.jpffma.org/index.html>) ではそれだけを食べていても必要な栄養素が摂取できる餌のことを「総合栄養食」と記載するよう規定しています

2) ほとんどの生き物は、汗や尿として体から外へ塩分を出しています。しかし、イヌは足の裏以外の場所からはほとんど汗をかかず、塩分があまり失われないという特徴を持っています。このため、人と同じ量の塩分を摂ると、塩分が体にたまりすぎてしまいます。また、人の場合は塩味のついた食べ物をおいしく感じますが、イヌは塩味に対してほとんど興味をもたないようです。イヌの餌に塩味をつけてもイヌは喜びません。

3) ネギ類に含まれるアリルプロピルジスルフィドと呼ばれる物質が、イヌの赤血球を壊します。ちなみに、

などの鍋物の煮汁を与えるのは危険です。

チョコレート チョコレートに含まれるテオブロミンと呼ばれる物質がイヌの神経に作用し、興奮や下痢および嘔吐、重篤な場合には麻痺、痙攣^{けいれん}、呼吸困難などを引き起こします。

「うちのイヌは今までチョコレートやタマネギをあげていたけど、具合が悪くなるようなことはなかったよ」と言われる方もいらっしゃるかもしれませんが、チョコレートやタマネギはイヌの体調によっても影響の強さが変わるので、絶対に与えないでください。

生肉・生魚 イヌに限ったことではありませんが、生食は食中毒や寄生虫の原因となることがありますので、よく火を通した食べ物を与えて下さい⁴⁾。また、魚介類の内臓にはビタミン B1 の分解酵素が大量に含まれており、生で食べるとビタミン B1 欠乏症になることがあります。いわゆる「ネコにイカを食わすと腰を抜かす」というのは、ビタミン B1 の急性欠乏症によってフラフラした状態が民間伝承となったものです。

1.3 餌と水の与え方

成犬の場合、餌は1日に1-2回与えます。1日2回の場合は朝と夕に、1日に1回の場合は朝夕のどちらか（普通は朝、散歩が終わった後）に与えるのが一般的です。餌の前後に、時間を空けずに激しい運動をさせると、胃捻転や腸捻転の危険があります。餌と運動の時間は30分以上あけてください。水は新鮮なものがいつでも飲めるよう、十分に用意してあげてください。

1.4 散歩

毎日、だいたい決まった時間に散歩に連れて行ってください。十分なスペースがあれば、イヌは繋いだままでも飼えるかもしれませんが、福祉的にも、訓練への服従性を向上させるためにも、毎日散歩に行くべきです。特にイヌを放して呼び戻しをさせる訓練においては、日常的に外の環境に触れることができているイヌに比べ、いつも繋がれていて散歩にあまり連れて行ってもらっていないイヌは、飼主が呼んでも戻ってこない事が多くなります。

2 イヌの健康管理

健康管理の基本は、毎日の食べ物と運動にあります。大きな病気に対する予防も必要です。自分の飼っているイヌが病気にかからないためにも、また他のイヌや人に病気をうつさないためにも、しっかりと対策をしておくことが飼主の責任です。

2.1 予防接種（ワクチネーション）

感染性の大きな病気に対し、前もって免疫をつけることによりその病気にかかることを防ぎます。予防接種の種類にもよりますが、イヌにおける予防接種の多くは、1-2年程度で効力が弱くなります。

ネコでも同じようなことが起こります。ネギの入った汁物からネギを取り除いても、赤血球を壊す成分は汁の中に出ていますので注意して下さい

4) イヌは生肉が好きだと言われることがありますが、実際には火を通した肉の方が嗜好性^{しこうせい}が高いことが研究で明らかにされています。イヌが最も好むのは缶詰にされた肉（いわゆる缶詰のドッグフード）です。

す。イヌには1年に1回、定期的に予防接種を受けさせてください。

2.1.1 狂犬病

狂犬病予防法により、飼主は自分のイヌに狂犬病の予防接種を受けさせる義務があります。飼犬を畜犬登録すると、1年に1回、狂犬病予防接種の集団接種会の手紙が届きます。集団での接種を受けるか、獣医師に相談して予防接種を受けてください。

2.1.2 重篤な症状を示す感染症

イヌを死に至らしめたり、後遺症を残したり、非常に重篤な症状におちいるいくつかの感染症に対する予防接種があります。普通は、1本の注射で5種類から7種類程度の病気⁵⁾に対する抵抗力をつけることのできる予防接種が一般的です。この注射は「混合ワクチン」と呼ばれています。このワクチンも、1-2年に1回程度、定期的に接種するのが良いでしょう。

2.2 寄生虫予防

イヌの体に寄生する虫は多く、特に山野を駆け回る追い払い犬は様々な寄生虫にさらされます。寄生虫の予防や駆虫は、定期的な健康診断および投薬によって防ぐことができます。

2.2.1 内部寄生虫

フィラリア イヌの血管や心臓に住みつく、糸状の寄生虫です。主に蚊が病気を媒介します。大きな虫が心臓に住み着いてしまうと、外科的に取り出すことが必要になりますので、事前の予防が大切です。蚊がでる季節（5月から10月ぐらいまで）の間、1カ月に1回、駆虫薬を飲ませる方法が一般的な予防法です。

消化管につく寄生虫 イヌの消化管につく寄生虫を殺す、または虫を麻痺させてイヌの排泄物と一緒に体外に出させる駆虫薬、いわゆる「虫下し⁶⁾」を飲ませてください。1年に1度程度、獣医師に寄生虫の検査を依頼し、虫がいる場合には駆虫薬を出してもらってください⁶⁾。

2.2.2 外部寄生虫

イヌで問題となる主な外部寄生虫はノミとダニです。

予防薬 1カ月に1度程度、首筋に液状の薬を滴下するタイプのものが手軽です⁷⁾。ペットショップやホームセンターでも取り扱っています。獣医師に依頼すれば、もう少し効果の高いタイプの薬を処方してもらうことができます。

5) ジステンパー、パルボウイルス感染症、アデノウイルスI型（イヌ伝染性肝炎）アデノウイルスII型（イヌ伝染性喉頭気管炎、またはケンネルコフ）、イヌパラインフルエンザ、レプトスピラ（黄疸出血型）、レプトスピラ（カニコラ型）、イヌコロナウイルス病などの病気に対する抵抗力を身につけるものが一般的です。

6) フィラリアの駆虫薬（予防薬）の中には、消化管につく寄生虫への駆虫効果も併せ持ったものがありますので、これを処方してもらうのも良いかもしれません

7) このタイプの薬は、駆虫剤がイヌの首筋から全身の皮下組織にまわり、ダニやノミがイヌの皮膚に噛みついた際に、虫の体を麻痺させるなどして外部寄生虫を落とすものです。

ダニを取る方法 ダニは体液の吸いやすい、イヌの体の柔らかい部分に集まります。尻尾の付け根や股の間、脇の下、首筋、耳、目などです。これらの場所を注意深く見ると、ダニがついていることがあります。ダニはイヌの体液をたっぷり吸うと、自然に落ちます。体液を吸っているダニを無理矢理取ろうとすると、ダニの口がイヌの皮膚に刺さったまま残り、膿んでしまうことがあります。ダニを取る場合には、ダニ取り用の薬品やシャンプーを使うか、線香の火をゆっくり近づけると、自分で口を開いて皮膚から落ちます。

犬小屋や寝場所の掃除 ノミは、イヌの体や犬小屋、寝場所に卵を産んで増えます。ノミを退治するためには、イヌがよく使う場所を消毒し、清潔に保ちましょう。また、同時にイヌの体をノミ取りシャンプーなどで洗いましょう。

また、実際に追い払いをするようになると、地域によってはヤマビルへの対応が必要になることがあります。ダニやノミと異なり、長期的に寄生されることはありませんので、追い払いが終わった後にイヌの体を調べて、ヤマビルが付いていないか確認して下さい。

3 イヌとのつきあい方

害獣対策犬に必要な作業は、獣を追い払うことです。イヌにこの行動をとらせるには、2種類の方法（2種類の動機）があります。

- 本能的に獣を追う
イヌは獣を追うのが楽しいので、獣を追います。
- 飼主に褒めてもらえるので獣を追う
イヌは獣を追うと飼主が褒めてくれたり、飼主が喜んでくれるので獣を追います。

前者の動機でイヌに獣を追わせる利点は、獣とイヌの間で関係が完結するので、追い払い活動に人間が介入する必要が無いことです。しかし、この方法は、あくまでイヌが好き勝手に獣を追っている状態なので、人間の都合により獣を追わせたり、途中で止めさせたり、ある程度追い払ったら戻ってくるようにしたりといったコントロールができません。イヌは獣を追うのが楽しいので、楽しみを大きくするために、飽きるまで獣を追います。

これに対し、飼主に褒めてもらうために獣を追うように訓練したイヌは、飼主が褒めてくれなければ獣を追いません。獣を追うのは、飼主に褒めてもらうための手段の1つでしかありません。この方法では、イヌが自動で獣を追ってくれるようにはなりません、飼主の褒める・褒めないによって、イヌの行動をコントロールできます。

イヌの気持ちをこのような状態にもっていくためには、イヌに「飼主と一緒にいると楽しいことが起こる」といった、飼主に対する良いイメージを持たせなければなりません。そのために一番良いのは、イヌと遊んであげることです。遊びは、飼主と接することで楽しいことが起こるとイヌに思わせるためには最も良い方法です。また、ほんの小さなことであっても、イヌが良いことをしたら褒めてあげてください。目があっただけでも声をかけたり、うなずき返してあげてください。社会的な動物にとって、相手から反応があるというのは楽しいことなので、こういった小さなことでコミュニケーションの数が増え、相手に対する良いイメージができます。

イヌを活用した害獣対策のために
追い払い犬 飼育管理マニュアル

Version: 1.1.2

Type set: 2008-6-10, 2:34 P.M.

作成：平成 17～19 年度 農林水産研究高度化事業成果

改訂：平成 20 年度～ 兵庫県森林動物研究センター研究事業

発行者：兵庫県 森林動物研究センター

著者：石川圭介・稲葉一明・坂田宏志

〒669-3842 兵庫県丹波市青垣町沢野 940

電話：0795-80-5500

FAX：0795-80-5506

<http://www.wmi-hyogo.jp/>

本文書は平成 17～19 年度の先端技術を活用した農林水産研究高度化事業「獣害回避のための難馴化忌避技術と生息適地への誘導手法の開発」から研究費を得て作成された。

この文書は「Creative Commons 表示-非営利 2.1 日本 (<http://creativecommons.org/licenses/by-nc/2.1/jp/>)」のライセンスで公開されています。